

令和5年度日本山岳会栃木支部秋山山行報告

1. 期日：令和5年10月16日(月)～17日(火)
2. 場所：安達太良山、岳温泉、一切経山、東吾妻山
3. 参加者
渡邊支部長、神島会員、長会員、菱田会員、大島会員、高野会員、鬼頭会員、林会員(17日)
増淵(CL) ゲスト、神長善次、齋藤一興、林明子(17日)

4. 10月16日(月)

宇都宮市内宝木本町のコンビニ(セブンイレブン)に6時30分集合、集合後車を知人宅の空地に車を置き、増淵の車で出発する。宇都宮ICから東北自動車道へ途中の黒磯PAで神島氏と合流する。二本松ICの出たところで、神長氏の車と合流し9時30分奥岳登山口の駐車場に到着する。

駐車場で、前日来ていた高野、鬼頭両氏と合流する。ロープウェイ乗り場に行くのと登山客と観光客で乗場は長い列ができていた。それぞれ乗車し、紅葉を眺めていると山頂駅に到着する。駅から出た登山口に集合する。簡単に開会行事の後10時20分登山口を出発する。木道は順調に進み、仙女平の分岐を過ぎてからは登山者が多く渋滞し、進むことができない。風も強い中、安達太良山山頂に到着する。荷物を飛ばされないように岩陰に置き頂上に登る。風が強いため峰ノ辻まで降りて、休憩し、昼食にする。峰ノ辻を出発し、途中から雨になり、悪路を苦労しながら歩き、その後は林道を歩き、奥岳登山口に14時に到着する。この日は岳温泉マウントインに投宿。18時から渡邊支部長の挨拶の後、支部長持参のシャンペンで、乾杯で懇親会を開始する。豪華な料理に舌鼓をうちながら打ち解けて盛り上がる事ができた。20時30分終了し、部屋に戻ってから懇親会の続きをして、22時就寝する。福島支部長のはからいで、宿を紹介いただき、一同大満足し、感謝です。

5. 10月17日

岳温泉の宿舎を7時20分出発し、磐梯吾妻スカイラインを通り浄土平に到着する。

林夫妻と合流する。天候もよく時間があるので、一切経山に登り東吾妻山周遊登山に変更する。長さんは、浄土平を散策する。11名で浄土平登山口8時30分出発する。登り初めは、風はなかったが、山小屋を過ぎ稜線にでると強風で飛ばされそうであったが、山頂に到着。山頂から美しい鎌沼が見られた。山頂は強風のため、山小屋まで戻り休憩する。12時山小屋を出発、沼に沿った木道を歩き、東吾妻山登山口で、神長氏と合流する。木道、途中からは少し荒れた道を登り、山頂に着く。山頂で写真を撮る。14時00分浄土平登山口に到着する。無事登山を終了することができた。(増淵 記)

以下は、長会員の記録

9:30 レストハウス発～湿原コース～9:45 樋沼入口～10:10 樋沼第一展望～10:15～10:30 第二展望～第一展望～鳥子平方面～鳥子平、浄土平分岐～浄土平方面を歩く～車道に出たら其処に吾妻小屋への看板が有り、鳥子平方面に戻る～11:00～11:15 吾妻小屋に鍵がかかっている外で休憩～兔平無料駐車場～車道～湿原コース～11:40 ビジターセンター～12:00 レストハウスで昼食～12:30 神島氏と合流～12:45 ビジターセンターへ行く。ビジターセンターで質問しました。吾妻小屋はキャンプの客が帰ったので昨日オーナーは家へ帰ったそうです。

1983年(40年前)に夫と泊まった時の場所は同じだそうです、もっとオープンな感じでお店が有り、長い木彫りの靴ペラを買って今でも使っています。レストハウス売店のおばさんの話では経営者が変わったそうです。吾妻小富士は馬鹿にして登らなかったが、今では腰が痛くて登れない。斜面は木もないの思い出が有ったのですが、40年前はそうだったそうで何処からでも登れたので、靴の泥か？木が生えて来たそうです。今は階段を作ってそこからしか登れないようにしたそうです。(長 記)